

▲スポーツに親しむ高齢者の方々



ゴルフの他、市民ハイキングなど様々な事業を行い、多くの高齢者の方に参加をいただき、体力の向上や野山を歩く楽しさを知っていただき、健康増進を図っているところ。また、地域の高齢者学級や老人クラブにスポーツリーダーの指導者を派遣し、レクリエーションダンスやストレッチ体操等を行い、高齢者の体力にあったメニューにより、高齢化に伴う体力の低下や骨粗しょう症の予防を図っています。この他にも、各種サークル活動などの情報提供を行い、高齢者の方が様々な活動に参加できるよ

う工夫をしています。今後も、高齢者が余暇時間等を活用し、生きがいを持ち、健康で充実した生活を営むことができるよう、学習機会の充実に努めていきます。

問 雇用・就業の機会の確保について伺う。

市長 高齢者が、それまでに培ってきた知識や技能を活用して就業や活動する機会は、少子化による若年労働者の減少もあり今後ますます増大していくものと考えています。高齢化社会においては、高齢者ひとりひとりの特性に応じた就業や生活のニーズは様々であり、時代とともに容易に変化するものと思われ。そこで、高齢者の就業支援が効果的・効率的に機能するためには、地域における多くの関係機関が共通の認識を持って連携を図ることが必要だと考えています。本市は、シルバー人材センター事業に取り組んでおり、多くの方々が各種の依頼に応じ、就業に努められております。今後も、多くの就業機会の確保について取り組んでいきたいと考えています。

誠和会

山本 義一
山本 邦男
古川 宏史
北村 新司
横田 義和
中田 眞司
湯浅 祐徳
小高 良則
山口 孝弘

個人
質問
山口 孝弘

◆行政問題

問 行政サービス向上と、職員のモチベーション向上について。

市長 平成17年に今ある人材を育成・活用していくために「人材育成基本方針」を策定したところであり、この中では研修や人事評価制度を活用し、人材育成につなげることをしています。特に人事評価制度については、平成18年度から導入したところであり、この制度は職場内における意思の疎通を積極的に図りながら職員のやる気を引き出すことが大きな目的の一つとなっています。今後も職員の意欲の高揚を図りながら人材を育成することが結果的に

行政サービスの向上につながるため、積極的に人材育成を図りたいと考えています。

問 各課ごとに行革プランを作成しては。

市長 各課において日頃から各業務について課題や問題点の洗い出しとその対応について検討しながら業務を遂行しているところで。また、本市には職員提案制度があり、市政全般の業務処理について職員の改善意見の提案を奨励し、業務の改善を図っているところ。改革に向けた職員意識の高揚につなげるためにも、更に制度を充実させ、行政改革に活用していきたいと考えています。各課ごとの改革プランの作成については、今後の研究課題にしたいと考えています。

問 八街市ホームページについて。また、メールマガジン発行について。

市長 ホームページについては、必要な情報をより見やすくするために検索システム導入の要望があります。職員による手作りであるため、検索システムの導入が難しいことから掲載内容や配列場所などの見直し

▲八街市ホームページ



伝えるために。

市長 現在本市では、当初予算の概要、決算の状況などについて広報やホームページを利用して、公表しているところですが、厳しい財政状況を理解していただくためにも市の財政を家計簿的なものに置き換えての公表並びに財政用語の解説など更に改良を加え、市の財政状況をより市民の皆様身近に感じていただくための方策を検討したいと考えています。

問 今後、歳入を増やすための計画はあるのか。

市長 平成19年度より三位一体改革に伴う本格的税源移譲の初年度ということから、歳入面では大変不透明な部分もある中、財源確保の取り組みとして、財政調整基金をはじめとする各種基金や、起債等を活用し財源不足に対応する一方、市税収入確保のため徴収嘱託員制度に加え本年4月18日に発足した県滞納整理推進機構に依頼し、県税務職員と一体となって、税収の確

◆財政問題

問 八街市の財政状況を市民の皆さんにわかりやすく